

施設名称

岡山大学病院

施設において移植可能な臓器



病院の特徴

- 移植以外の手術数：977件（診療科における昨年度の全身麻酔手術数：622件と主要手術数：538件）
- 昨年度の生体移植数：15件
- 移植担当医師（成人・小児代表医師名：荒木元朗）
- 移植認定医数：4名
- 認定レシピエント移植コーディネーター：5名
- 移植実施施設としての特徴：

『丁寧に、慎重に、』をモットーとし、腎臓内科を始めとして他科とも密な連携をとった診療を実践しています。移植腎1年生着率・生存率100%（2025年4月時点）。2023年度ロボット手術件数（院内総数）国立大学病院第一位、腎泌尿器科183件（主に癌疾患が対象）と院内第一位の実績があり、アジア・ヨーロッパで初となるロボット自家腎移植にも成功しました。将来的な献腎・生体腎移植への適応も目指しています。腎機能温存を目的とした癌局所治療である尿管鏡アブレーションの充実も当科の特徴であり、移植後の疾患に対してもこのような優れた最先端技術の有用性も期待されています。

待機患者数
（作成日現在）

190人
（成人188人 小児2人）
待機年数5年以上98人

死体移植実施数
（過去3年間）

1件（2022年）
1件（2023年）
2件（2024年）

お問い合わせ先

岡山大学病院
臓器移植医療センター
レシピエント移植コーディネーター
電話：086-235-6965